

平 成 2 8 年 度

福岡市基本計画に係る実施状況の報告

平成 2 9 年 9 月

福 岡 市

福岡市市行政に係る重要な計画の議決等に関する条例第4条の規定に基づき、平成28年度の福岡市基本計画に係る実施状況を報告する。

平成29年9月13日

福岡市長 高島 宗一郎

目 次

	ページ
1 はじめに	
（１）施策評価による基本計画の実施状況の把握	… 3
（２）施策評価の基本的な流れ	… 4
2 福岡市基本計画の実施状況	
（１）分野別目標	… 5
目標 1 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている	… 17
目標 2 さまざまな支え合いとつながりができている	… 84
目標 3 安全・安心で良好な生活環境が確保されている	… 106
目標 4 人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている	… 156
目標 5 磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている	… 202
目標 6 経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている	… 238
目標 7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を 生み出している	… 272
目標 8 国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている	… 299
（２）区のまちづくり目標	… 351

1 はじめに

本報告書は、福岡市市行政に係る重要な計画の議決等に関する条例第4条に規定する「基本計画に係る実施状況」として、第9次福岡市基本計画を対象に実施した施策評価の結果を取りまとめたものである。

福岡市総合計画の概要

福岡市総合計画は、福岡市の将来の健全な発展を促進するために策定する市政の総合的計画のことで、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3つで構成される。

基本構想・・・福岡市が長期的にめざす都市像を示したもの
(平成24年12月策定、目標年次：なし)

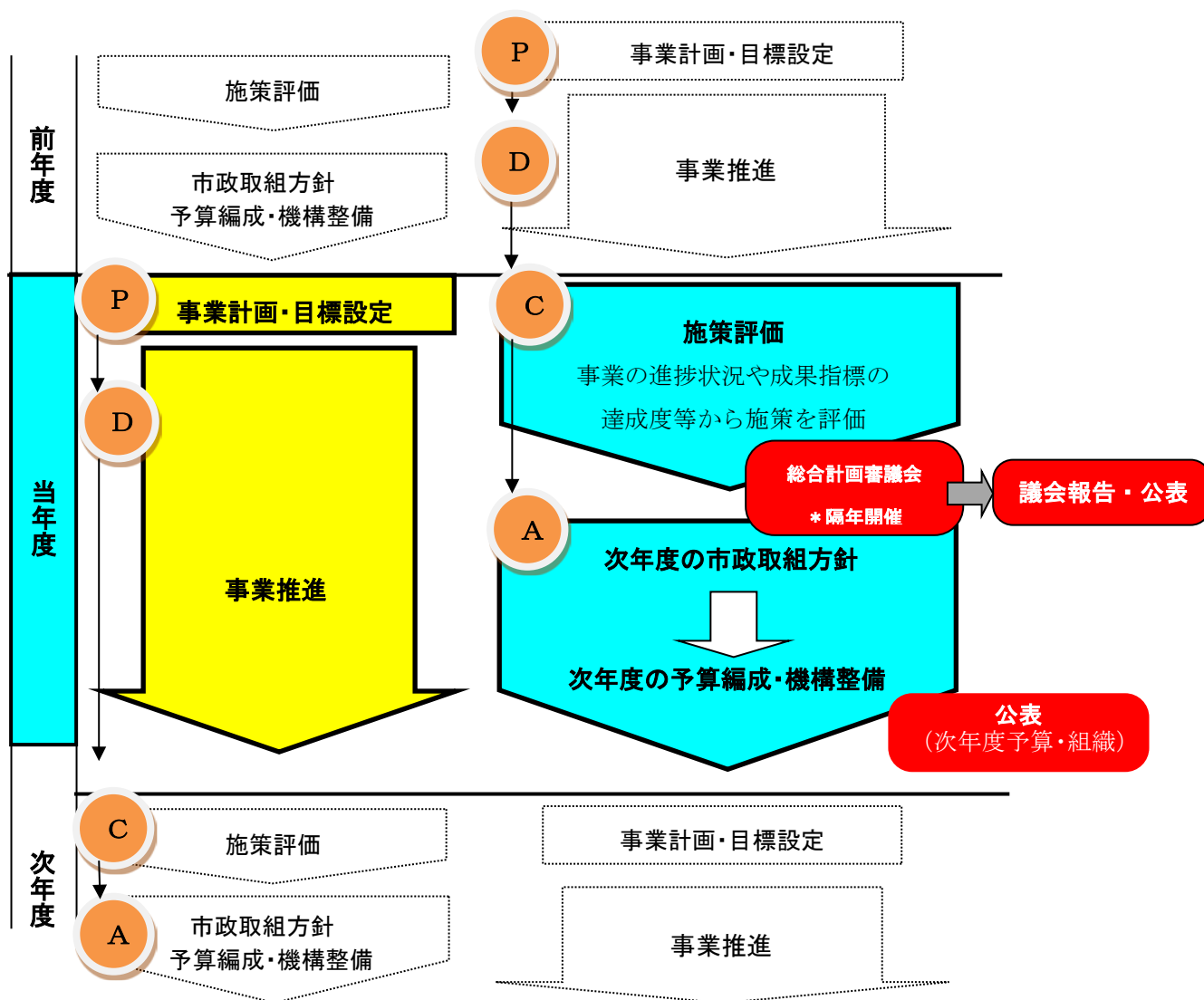
基本計画・・・基本構想に掲げる都市像の実現に向けた方向性を、まちづくりの目標や施策として総合的・体系的に示した10年間の長期計画
(平成24年12月策定、目標年次：平成34年度)

実施計画・・・基本計画を推進するにあたって、福岡市が取り組む具体的な事業を示した
(政策推進プラン) 4年間の中期計画
(第1次実施計画…平成25年6月策定、目標年次：平成28年度)
(第2次実施計画…平成29年6月策定、目標年次：平成32年度)

(1) 施策評価による基本計画の実施状況の把握

- 「施策評価」は、PDCA方式(※)の徹底を図りながら、基本計画に基づく施策事業の進捗状況を定期的に把握・評価し、次年度の予算編成に反映することなどにより、施策事業の着実な推進を図るもの。
- 福岡市では、平成25年度から施策評価を導入し、その結果を「基本計画の実施状況」として取りまとめている。

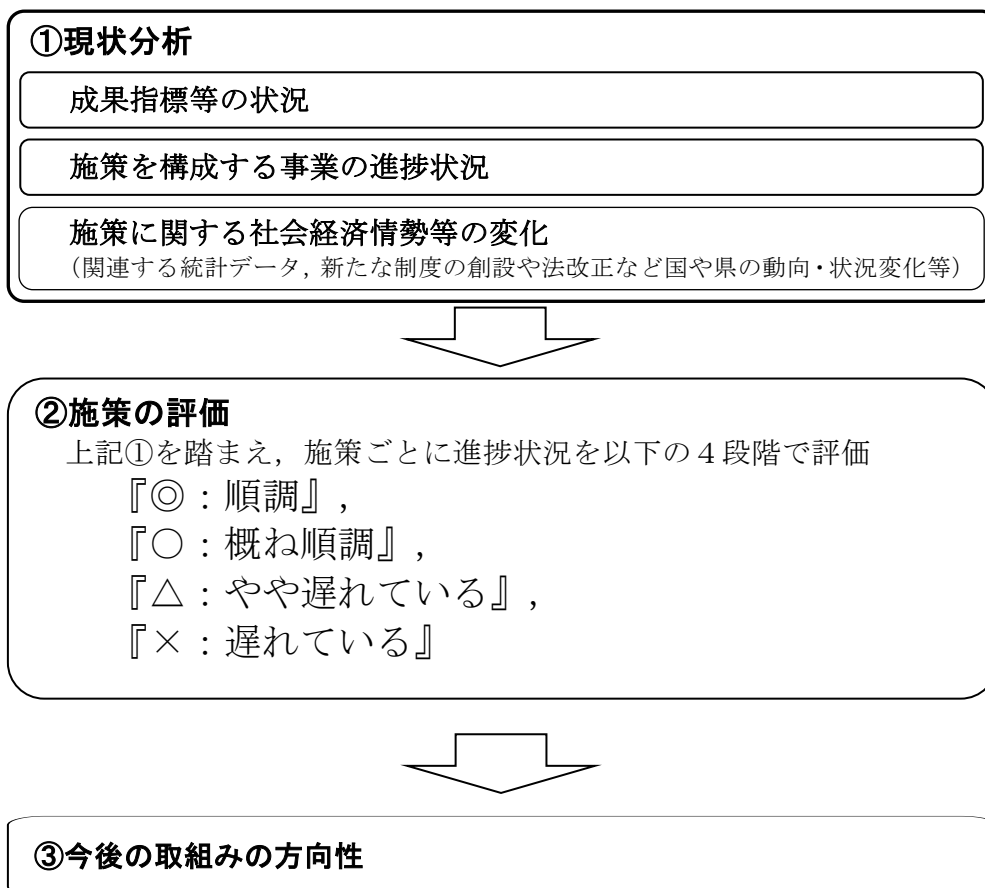
■ PDCA方式による進行管理の流れ



※ PDCA方式とは、政策の企画立案 (Plan)、実践・執行 (Do)、評価・点検 (Check)、改革・対策の実施 (Action) の繰り返しにより経営管理を行う手法。マネジメントサイクル。

(2) 施策評価の基本的な流れ

- 施策評価は、第9次福岡市基本計画に掲げる51施策を対象に、施策単位で実施する。
まず、施策の「①現状分析」を行い、これを踏まえ、「②施策の評価」を行って、「③今後の取組みの方向性」を整理する。



- 51施策のうち、成果指標の現状値が把握できない施策については、「施策の評価」は行わない。また、成果指標の現状値が基本計画の計画期間外の場合は、参考として成果指標、施策の進捗状況を評価する。

2 福岡市基本計画の実施状況

(1) 分野別目標

ア 評価結果の構成

分野別目標に関する施策の評価結果は、以下の2種類のシートによってまとめている。

①分野別目標総括シート

基本計画の8つの分野別目標ごとに、

「めざす姿」,

「施策の評価」

をまとめるもの。

②施策評価シート

基本計画の51施策ごとに

「1 施策の評価」,

「2 施策の関連指標の動向と分析」,

「3 取組みの進捗状況・課題・今後の方向性」,

「4 重点事業等」

をまとめるもの。

※再掲の重点事業は、元の施策の重点事業欄に実施状況を記載する。

イ 施策等の評価について

(ア) 施策の評価

施策は、成果指標の達成状況や、事業の進捗状況等を総合的に勘案した上で、

「◎：順調」,

「○：概ね順調」,

「△：やや遅れている」,

「×：遅れている」

の4段階での評価を行っている。

(イ) 成果指標の達成状況

原則として、次の「A」、「B」、「C」、「ー」のいずれかを記載している。

「A」・・・中間目標を達成している

「B」・・・中間目標に届いていないが、指標は改善している、又は現状維持

「C」・・・初期値よりも数値が下がっている

(数値が下がると成果が向上するものは数値が上がっている)

「ー」・・・数値が把握できないため判定不能

※意識系の指標については、初期値からの数値の変動幅が概ね±3%未満の場合は、アンケート調査の誤差を考慮し、「現状維持」の範囲内としている。

※中間目標として設定している年次・年度の数値が把握できていないものは、以下のとおり（ ）付きの記載としている。

「(A)」・・・中間目標に向けて順調に進んでいる

「(B)」・・・中間目標値の達成に向けたペースを下回っているが、指標は改善している、又は現状維持

「(C)」・・・初期値よりも数値が下がっている

(数値が下がると成果が向上するものは数値が上がっている)

(ウ) 事業の進捗状況

原則として、「成果の指標」の達成率により、次の「a」、「b」、「c」、「d」または「ー」のいずれかを記載している。

(「成果の指標」が無いものなどは「活動の指標」の達成率による。)

「a」・・・100%以上

「b」・・・75%以上 100%未満

「c」・・・50%以上 75%未満

「d」・・・50%未満

「ー」・・・数値が把握できないなど判定不能のもの

※指標を設定していない事業については、「事業の進捗状況に関する補足」の欄に説明を記載している。

ウ その他

・いずれのシートも、平成 28 年度を「H28n」、平成 28 年を「H28」等と表記している。

・「②施策評価シート（2 施策の関連指標の動向と分析）」の、「満足度と重要度の分布」欄には、市民満足度調査結果から、以下の算出方法による「平均評定値」を記載している。

「平均評定値」＝「各選択肢の回答数×配点」の合計÷各選択肢の回答数合計

満足度		重要度	
アンケートでの選択肢	配点	アンケートでの選択肢	配点
満足	＋2点	特に重要	＋2点
やや満足	＋1点	重要	＋1点
どちらでもない	0点	どちらでもない	0点
やや不満	－1点	あまり重要でない	－1点
不満	－2点	重要でない	－2点

・「②施策評価シート（4 重点事業等）」の「平成 28 年事業費」欄には決算見込額を、「平成 29 年事業費」欄には当初予算額を記載している。

分野別目標1 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている

＜めざす姿＞

- ユニバーサルデザインの理念によるまちづくりが進み、誰もが思いやりをもち、すべての人にやさしいまちになっています。一人ひとりが互いに人権を尊重し、国籍や年齢、性の違い、障がいの有無などにかかわらず、多様性を認め合いながら、いきいきと輝いています。
- 多くの市民が、元気に歳を重ねながら、知識や経験を生かし、社会の担い手、支え手として意欲的に社会参加し、活躍しています。支援を必要とする人々が適切な福祉サービスを受け、誰もが安心して笑顔で暮らしています。
- 市民が文化芸術やスポーツ・レクリエーションを楽しんでおり、心豊かに充実した生活を送っています。
- 多様な保育サービスが充実したゆとりある子育て環境の中、安心して子どもを生み、育てています。子どもたちが、自ら学ぶ意欲と志をもち、将来に夢や希望、目標を抱きながら、いろいろな世代の人とのふれあいや、さまざまな経験、学習を通じ、心豊かにたくましく成長しています。

施策	評価	
施策1-1 ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり	○	概ね順調 ・市民レポーターによる情報発信などユニバーサルデザインの普及啓発の取組みを充実させるとともに、鉄道駅の段差解消や視覚障がい者誘導用ブロックの整備、信号機のバリアフリー化などについて、バリアフリー基本計画（H25n～H32n）の中間目標を前倒しで実施するなど、ユニバーサル都市・福岡の推進やバリアフリーのまちづくり推進事業などの取組みは順調に進んでいる。 ・成果指標は中間目標に届いていないが、観光案内所や商業施設等における案内表示、サービスの充実のほか、新たにベンチプロジェクトをスタートするなど、外国人や高齢者などみんなにやさしいまちづくりが着実に進んでいる。
施策1-2 すべての人の人権が尊重されるまちづくりと男女共同参画の推進	○	概ね順調 ・人権啓発フェスティバルや若年層の参加促進事業、福岡市男女共同参画週間を活用した地域の活動支援、中学生向け出前セミナーの実施等による意識啓発の推進等の取組みは、福岡市男女共同参画基本計画（第3次）における基本目標の達成に向けて順調に進んでいる。 ・成果指標は、「男女の固定的な役割分担意識の解消度」が中間目標をほぼ達成するなど順調に推移しており、「人権が尊重されていると感じる市民の割合」は、中間目標には届いていないものの、初期値より緩やかに向上しており、今後も若年層の人権啓発事業への参加促進、新たな人権問題を取り入れた人権教育・啓発を推進していく。
施策1-3 一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり	◎	順調 ・健康づくりチャレンジ事業や、アクティブエイジングの推進などの取組みは、「健康であると感じている人の割合」が上昇（H27n:75.7%→H28n:77.5%）するなど、順調に進んでいる。 ・成果指標は中間目標を達成するなど、順調に推移している。
施策1-4 心豊かに文化芸術を楽しむまちづくり	○	概ね順調 ・心豊かな文化芸術を楽しむまちづくりに向けて、子ども達の文化芸術体験の場の創出や、文化施設の有効活用・整備などの取組みは、概ね順調に進んでいる。 ・成果指標は、「文化芸術を鑑賞する市民の割合」が中間目標を達成し、「文化芸術活動を行う市民の割合」は中間目標に届いていないものの、概ね増加傾向にあるため、現在の取組みを引き続き継続して実施することとしている。
施策1-5 スポーツ・レクリエーションの振興	○	概ね順調 ・福岡市スポーツ振興計画に基づき、身近な場所で行えるスポーツ・レクリエーション活動の普及・振興や、身近なスポーツ・レクリエーション施設の整備などの取組みは、順調に進んでいる。 ・成果指標はともに中間目標に届いていないものの、類似の調査項目「スポーツ施設や場所が身近なところにある」、「スポーツを週1回以上する人の割合」などは、ともに上昇している。

分野別目標1 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施 策	評価	
施策1－6 すべての人が安心して暮らせる福祉の充実	○ 概ね順調	・地域ケア会議の運営や在宅医療・介護連携など地域における総合的な福祉サービスの構築、要介護高齢者の増加に対応するための特別養護老人ホームの整備など、高齢者の健康と福祉の向上に向けた取組みは、順調に進んでいる。 ・成果指標は中間目標に届いていないものの、地域包括ケアの推進や障がい者虐待防止・基幹相談センター事業等により、体制の強化を進めている。
施策1－7 子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり	○ 概ね順調	・児童虐待防止対策の推進、保育所等整備の推進、留守家庭子ども会事業などの取組みは、概ね順調に進んでいる。 ・成果指標のうち「子育て環境満足度」は中間目標値を上回っている。「保育所入所待機児童数」はH26.4に目標値である0人を達成したが、H28.4は73人。保育所等定員数は、H24nから約7千人増の33,541人と、保育ニーズへの対応を着実に進めている。
施策1－8 自ら考え、学び、行動する子ども・若者の育成	○ 概ね順調	・子どもの学力向上や国際教育の推進、いじめ・不登校対策、健全育成などの取組みは、各事業ごとの目標に向けて順調に進んでいる。 ・成果指標は中間目標には届いていないものの、「地域の遊び場や体験学習の場への評価」は、概ね中間目標値（60%）前後で推移しており、「学校の教育活動に対する満足度」は「わからない」及び「無回答」を除いた肯定評価は増加傾向で、70.7%（H28n）となっている。また、保護者のみを対象に実施した調査（教育意識調査）では、満足度は57.8%（H27n）となっている。

分野別目標2 さまざまな支え合いとつながりができている		
<めざす姿> ○市民が身近な地域の課題やまちづくりに主体的に関わっており、公民館などの地域コミュニティ活動の場が有効に活用され、多くの市民によるさまざまな活動が行われています。 ○交流と対話により、人と人とのつながりが育まれ、さまざまな人々が、共に支え合いながら元気に安心して暮らしています。 ○地域コミュニティ、NPO、ボランティア、企業、行政などさまざまな主体が、それぞれの知恵やノウハウなどを持ち寄って共働しており、その相乗効果によってさまざまな社会課題を解決しています。		
施 策	評価	
施策2－1 支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化	○ 概ね順調	・H28nから自治協議会共創補助金を拡充し、自治協議会活動の充実を図ったほか、地域デビュー応援事業により、新たに地域活動に参加した人数が年々増加し、H26nから累計で34,948人となるなど、地域コミュニティの基盤強化や活性化、地域人材の発掘・活用の取組みは順調に進んでいる。 ・成果指標は初期値から伸びていないものの、新たに地域活動に参加した人数や共創の取組みによる新たな活動数はともに増加しており、引き続き地域活動への参加を促進していく。
施策2－2 公民館などを活用した活動の場づくり	△ やや遅れている	・「公民館改築」をはじめ、地域活動の場づくりの事業が順調に進捗している。 ・成果指標は中間目標に届いていないものの、公民館主催事業や地域諸団体による公民館延べ利用者は増加していることから、住民の活動拠点としての機能が順調に活用されている。

分野別目標2 さまざまな支え合いとつながりができている		
施策	評価	
施策2-3 支え合いや助け合いによる地域福祉の推進	○ 概ね順調	・地域での支え合い活動支援、見守り推進プロジェクトなどの取り組みは、支え合い・助け合い活動による地域福祉の推進に向けて、順調に進んでいる。 ・成果指標は中間目標に届いていないものの増加しており、引き続き各事業の実施、広報等に努めていく。
施策2-4 NPO、ボランティア活動の活性化	○ 概ね順調	・福岡市NPO活動支援基金は前年度に比べて寄付件数が134%増、NPOと共働した経験のある職員の割合が29%（26年度）から33%となるなど、NPO・ボランティア活動の支援や共働の推進の取り組みは、順調に進んでいる。 ・成果指標はいずれも中間目標に届いていないものの、福岡市NPO・ボランティア交流センターが実施するNPO・ボランティアに関する事業では、対前年比で「講座参加者」が114%増、「活動参加者」が225%増となるなど、NPO・ボランティア活動の活性化に繋がっている。
施策2-5 ソーシャルビジネスなど多様な手法やつながりによる社会課題解決の推進	○ 概ね順調	・商店街やNPO法人等が実施する商店街振興を目的とした地域課題解決の取り組みへの支援を行っているほか、包括連携協定に基づく、地域の活性化・市民サービス向上に向けた連携事業を推進するなど、取り組みは順調に進んでいる。 ・成果指標の「市の施策によるソーシャルビジネス起業者数」は中間目標に届いていないものの、ソーシャルビジネスの事業者数は2012年度の126から134事業者に、包括連携協定締結企業数も2012年度の4社から8社になるなど、順調に増加している。

分野別目標3 安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
＜めざす姿＞ ○災害に強い都市基盤が整備され、消防・救急医療体制が充実しています。また、地域において自主防災組織を中心とした共助の仕組みがつくれ、災害への即応体制が強化されています。 ○道路、上下水道、河川、住環境などの市民に身近な都市基盤が良好に整備され、健康で快適に暮らせる生活環境が守られ、誰もが安全で安心して生活しています。 ○モラルやマナーが大切にされ、地域の自主的な防犯活動も盛んに行われており、安全で安心して暮らせるまちに誰もが誇りをもっています。子どもたちは社会のルールを守ることの大切さを学び、思いやりの心や規範意識が育まれています。		
施策	評価	
施策3-1 災害に強いまちづくり	◎ 順調	・熊本地震を踏まえた防災計画の見直しや、市民の防火・防災・減災力向上等に向けた取り組みや、消防・救急体制の強化、緊急輸送道路の整備（拡幅、橋梁の耐震補強）と無電柱化の推進などの取り組みは、順調に進んでいる。 ・成果指標のうち、「地域の防災対策への評価」、「災害時要援護者情報が活用されている地域の割合」は中間目標を達成するなど順調に推移している。「自主防災活動への参加率」は中間目標に届いていないものの、防災意識の高まりから増加傾向にあり、今後とも自主防災活動への参加促進などに取り組んでいく。
施策3-2 安全で快適な生活基盤の整備	◎ 順調	・身近な生活道路の改善や西鉄大牟田線連続立体交差事業などの安全で快適な道路環境づくり、及び雨水整備D0プランなど総合治水対策の推進などの取り組みは、順調に進んでいる。 ・成果指標のうち、「通学路における安全な歩行空間の確保度」は中間目標に達しており、「下水道による浸水対策の達成率」は、中間目標には届いていないものの、事業は着実に進んでいる。

分野別目標 3 安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
施 策	評価	
施策 3-3 良質な住宅・住環境の形成	○ 概ね順調	・サービス付き高齢者向け住宅供給促進事業で高齢者居住安定確保計画（H25.1策定）に基づく年間供給目標を達成するなど、安心して住み続けられる住宅供給の促進などの取組みは、概ね順調に進んでいる。 ・成果指標は、「住宅および住環境に対する満足度」が中間目標を達成し、「住宅のバリアフリー化が行われた割合」は中間目標に届いていないものの、初期値から増加傾向にあり、「住宅事情に関する満足度」は70%以上の高い水準で推移している。
施策 3-4 ルールが守られ、人にやさしい安全なまちづくり	○ 概ね順調	・第10次福岡市交通安全計画に基づく自転車安全利用の推進、福岡市自転車通行空間ネットワーク整備計画に基づく自転車通行空間の確保、動物愛護管理推進実施計画に基づく動物愛護・適正飼育の普及啓発などの取組みは順調に進んでいる。 ・成果指標は中間目標にわずかに届いていないものの、最終目標に向けて概ね順調に推移している。
施策 3-5 犯罪のない安全で住みよいまちづくり	◎ 順調	・市民の防犯意識の向上と地域の防犯力の強化に向けた出前講座の実施や地域防犯パトロールカーに対する支援、犯罪が発生しにくい環境づくりに向けた街頭防犯カメラの設置などの取組みは、順調に進んでいる。 ・成果指標は、いずれも中間目標を達成するなど、順調に推移している。
施策 3-6 安全で良質な水の安定供給	◎ 順調	・五ヶ山ダムの建設促進、漏水防止対策、水質管理の充実など、安全で良質な水の安定供給に向けた取組みについて、水道事業の基本計画「福岡市水道長期ビジョン」等に基づき、計画的に事業が進捗している。 ・成果指標のうち、「水道水のおいしさ向上」及び「市民一人あたりの水使用量」は中間目標を達成し、順調に推移している。 「防食管延長比率」は、中間目標をやや下回ったが、毎年ほぼ一定割合で着実に上昇しており、さらにH29nから配水管の年間更新延長を拡大することとしているため、今後、目標達成に向けペースアップする見込みである。
施策 3-7 日常生活の安全・安心の確保	○ 概ね順調	・黄砂・PM2.5の情報提供に係る事業やセアカゴケグモの駆除、消費生活相談の実施などの取組は、日常生活の安全・安心の確保に向けて順調に進んでいる。 ・成果指標のうち、「食の安全認識度」は中間目標値を超え順調に推移しており、「消費者トラブル未然防止に対する市民の意識」は、初期値から伸びていないものの、概ね80%台で推移している。

分野別目標 4 人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
＜めざす姿＞ ○再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの推進、公共交通機関の利用促進などにより、環境負荷の少ない持続可能なまちづくりが進むとともに、ごみの排出抑制やリサイクルなどが進んだ循環型社会になっています。 ○生物多様性の保全による豊かな自然の恵みを享受しており、自然と都市が調和したコンパクトで暮らしやすい都市環境が国内外から評価され、市民は質の高い暮らしに誇りをもっています。 ○都市のストックが上手に長く活用され、美しい街並みや地域の特性に応じた魅力ある景観、質の高い住環境など、魅力ある都市環境が形成されています。		
施策	評価	
施策 4－1 地球温暖化対策の推進と自律分散型エネルギー社会の構築	◎ 順調	・再生可能エネルギーの導入や家庭・事業者等における省エネルギーの推進などの取組みは、第三次福岡市環境基本計画（H26.9策定）に掲げる「未来につなぐ低炭素のまちづくり」の実現に向け、概ね順調に進んでいる。 ・成果指標は、いずれも中間目標を達成するなど、順調に推移している。
施策 4－2 循環型社会システムの構築	△ やや遅れている	・3Rの周知広報や資源物の再資源化の推進に加え、食品廃棄物の発生抑制（リデュース）など、新たな対策も講じながら取り組んでいる。 ・成果指標のうち、「リサイクル率」は概ね中間目標に向かって推移しているが、「ごみ処理量」は横ばいで目標値と開きがあり、市民一人一日あたりの家庭ごみ処理量の減少など3Rへの取組みが進む一方で、予測を超える人口増加や、経済状況の好転及び交流人口増等の影響があると考えられるため対応が必要である。
施策 4－3 生物多様性の保全とみどりの創出	○ 概ね順調	・生物多様性の認識の社会への浸透、アイランドシティはばたき公園整備の推進、新たな公園の整備などの取組みは、概ね順調に進んでいる。 ・成果指標は中間目標に届いていないものの、市民の「身近な公園の緑についての評価」は上昇傾向にあり、概ね順調に推移している。
施策 4－4 まちと自然が調和した福岡型のコンパクトな都市づくり	○ 概ね順調	・九州大学移転跡地のまちづくり（箱崎、六本松）や、土地利用規制の緩和等による地域活性化などの取組みは、概ね順調に進んでいる。 ・（成果指標の設定なし）
施策 4－5 公共交通を主軸とした総合交通体系の構築	◎ 順調	・公共交通ネットワークの充実や放射環状型道路ネットワークの整備などの取組みは、概ね順調に進んでいる。 ・成果指標は、いずれも中間目標を達成するなど、順調に推移している。
施策 4－6 ストックの活用による地区の価値や魅力の向上	○ 概ね順調	・エリアマネジメント団体によるまちの魅力向上につながるイベント実施、みどり経営基本方針に基づいた公園への民間活力の導入等による資産の有効活用などの取組みは、概ね順調に進んでいる。 ・（成果指標の設定なし）

分野別目標 5 磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
＜めざす姿＞ ○海をはじめとする自然、歴史、文化、食、スポーツ、商業施設などの多彩な資源が磨きあげられ、回遊性の高さやおもてなしなどにより、アジアの交流拠点として、世界中から人々が集まっています。また、福岡都市圏や九州各都市と連携し、魅力向上に向けた取組みや戦略的なプロモーションにより、九州全体の集客力が高まっています。 ○都心に近い大濠公園、舞鶴公園一帯が、市民の憩いの場としての機能と、歴史、文化、観光の発信拠点としての機能を兼ね備えており、都市の顔として、その魅力の向上に重要な役割を果たしています。 ○MICEの拠点都市や国際スポーツ大会の開催都市として国際的に認知されています。		
施策	評価	
施策 5-1 観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ	◎ 順調	・鴻臚館・福岡城エリアの回遊性向上、志賀島周辺エリアにおけるサイクルツーリズムの振興に向けた地域事業者等との連携、アジアンパーティの開催、「福岡よる旅」サイトによる夜の魅力の発信、動物園のリニューアルなどの取組みは、歴史・文化・自然などの観光資源としてのさらなる磨き上げ・集客促進に向けて、順調に進んでいる。 ・成果指標は、いずれも中間目標を達成するなど、順調に推移している。
施策 5-2 緑と歴史・文化のにぎわい拠点づくり	◎ 順調	・セントラルパーク基本計画策定に向けた検討委員会の開催をはじめ、賑わいづくりに向けたイベントの充実や手引書の作成、市民ボランティア等との共働による花壇植付けや石垣除草、見所づくりに向けたサクラ・ウメの活性化などの取組みは、複数の関係者が密に連携しながら実施できており、緑と歴史・文化のにぎわい拠点づくりの実現に向けて、概ね順調に進んでいる。 ・成果指標は中間目標を達成するなど、順調に推移している。
施策 5-3 情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり	○ 概ね順調	・まち歩きガイドの拡充、観光情報サイト「よかなび」によるスマートフォンでの観光情報の提供などの取組みは、順調に進んでいる。 ・成果指標は、「観光案内ボランティアの案内人数」は中間目標に届いていないものの、観光客等からのガイド派遣依頼及び外国人の案内人数は増加している。また、「観光情報サイトのアクセス数」は、スマートフォンからの利用に対応したサイトリニューアルの結果、スマートフォンでの訪問数は増加している。
施策 5-4 交流がビジネスを生むMICE拠点の形成	○ 概ね順調	・第2期展示場の事業者公募に向けた手続きや、ライオンズクラブ国際大会の受入環境整備などの取組みは、MICE機能の強化やMICE誘致の推進などのMICE拠点の形成に向けて、順調に進んでいる。 ・成果指標のうち、「国際コンベンション開催件数」は2012年に目標達成し、その後も増加を続けている。また、「国内コンベンション誘致件数」については初期値と同水準であり、MICEの専門組織である「Meeting Place Fukuoka」と連携した戦略的な誘致活動や開催支援を行っている。
施策 5-5 国際スポーツ大会の誘致やプロスポーツの振興	○ 概ね順調	・世界陸上選手権大会（北京）の合宿地、2019年のラグビーワールドカップの開催地、東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿地、2021年の世界水泳選手権の開催都市となるなど「国際スポーツ大会等の開催地・合宿地としての誘致・支援」の取組みや、アビスパ福岡と協力したサッカー教室の実施などプロスポーツの振興の取組みは順調に進んでいる。 ・成果指標は中間目標を達成するなど、順調に推移している。
施策 5-6 国内外への戦略的なプロモーションの推進	◎ 順調	・国内外観光プロモーション事業、クルーズ客船誘致活動の推進・受入体制の充実強化などの取組みは、順調に進んでいる。 ・成果指標はいずれも中間目標を達成するなど、順調に推移している。

分野別目標 6 経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
＜めざす姿＞ ○IT、健康、医療、福祉産業などの成長分野の企業の活動が活発であるとともに、多くの国内外企業の立地が進み、地場中小企業などではイノベーションが活発に行われて特徴ある商品やサービスが生み出され、競争力が高まっています。 ○新たな担い手づくりや新鮮な農水産物の地産地消、特産品開発が進み、農林水産業を含むさまざまな産業で付加価値が向上し、九州が一体的に発展しています。 ○福岡都市圏全体の経済が活性化しており、成長分野の企業のみならず、既存産業の中小企業などにおいても多くの働く場が創出され、若者、女性、高齢者、障がいのある人がいきいきと働いています。		
施策	評価	
施策 6-1 産学官連携による、知識創造型産業の振興	○ 概ね順調	・産学官連携の推進、知識創造型産業の振興などの取組みは、研究開発機能の集積及び科学技術実用化支援機能の活用やエネルギー関連産業の振興、情報通信業の集積を活かしたIoT開発拠点化の推進に向けて、順調に進んでいる。 ・成果指標は、「情報通信業の従業者数」が中間目標に届いていないものの、情報通信業の事業所数は順調に伸びている。「市内大学の民間企業などとの共同研究件数（最新値は2015年のデータ）」については、中間目標に向けて概ね順調に伸びている。
施策 6-2 成長分野の企業や本社機能の立地の促進	◎ 順調	・企業立地促進制度の実施や、外国企業等誘致推進事業などの企業や本社機能の立地促進のための取組みは、順調に進んでいる。 ・成果指標は、「成長分野・本社機能の進出企業数」が中間目標を達成し、「進出した企業による雇用者数」は、中間目標にわずかに届いていないものの、約3,000人の雇用が創出された。
施策 6-3 地域経済を支える地場中小企業などの競争力強化	◎ 順調	・商工金融資金制度の取組みは、融資利率の引き下げや資金の充実など中小企業の資金ニーズに的確に対応することにより、中小企業の事業資金の調達が順調となり、活動・成果の指標ともに目標を上回るなど、中小企業の競争力強化・経営基盤の強化に向けて順調に進んでいる。 また、商店街、伝統産業の振興に関する取組みも、その活性化に向けて概ね順調に進んでいる。 ・成果指標の「全国の中小企業従業者数に占める福岡市の割合（最新値は2014年のデータ）」は、中間目標値を上回る状況である。
施策 6-4 農林水産業とその関連ビジネスの振興	○ 概ね順調	・人・農地プランの作成・更新や新規就業支援による担い手の確保、二枚貝完全養殖チャレンジ事業によるブランド水産物の開発、「ふくおかさん家のうまかもん条例」に基づく市内産農林水産物及びその加工食品を販売・提供する事業者の認定等による地産地消の推進、ベジフルスタジアムによる市場機能の強化などの取組みは、概ね順調に進んでいる。 ・成果指標は、「福岡市の農林水産業を守り育てていくべきだと思ふ市民の割合」が、初期値から伸びていないものの70%台で推移している。「新鮮でおいしい食べ物の豊富さへの満足度」は、中間目標を達成するなど、順調に推移している。
施策 6-5 就労支援の充実	○ 概ね順調	・働き方のニーズに対応した就職支援などの取組みは、概ね順調に進んでいる。 ・成果指標は、「市の施策による就労者数」が、雇用情勢の改善に伴い減少しているが、「就業機会の多さに対する満足度」が中間目標を達成している。「25歳から44歳までの女性の就業率（最新値は2012年のデータ）」は、中間目標値を上回る状況である。

分野別目標 7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
＜めざす姿＞ ○創業など新たな挑戦をしようとする、創造的で先鋭的な人材や企業が世界中から集まっており、新たな価値を生み出し、開業率が全国トップレベルになっています。 ○創造性あふれる感性や技術、才能をもった人材や企業が集積する中で、創業者や新進芸術家、クリエイターなどの創造的で先鋭的な人材や企業が活躍し、新しい価値を生み出しています。 ○文化芸術活動を行う人が数多く活躍し、ゲーム、ファッション、デザイン、映画、音楽などのクリエイティブ関連産業が集積・拠点化しており、都市の成長の原動力となっています。 ○都心を中心とした創造的な空間に人材が集積し、活発に交流しており、福岡を拠点に活躍する女性、若者、学生、留学生が数多く生まれ、チャレンジする人材が活躍しやすいまちになっています。		
施策	評価	
施策 7-1 新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり	◎ 順調	・スタートアップカフェ、スタートアップサポーターズやインキュベート事業などの取組みは、順調に進んでいる。 ・成果指標は、最新値の2014年のデータが中間目標値を上回る状況である（2014年の調査から新設事業所の定義変更に伴い、全国的に数値が大幅に増加している）。
施策 7-2 創造的活動の基盤となる文化芸術の振興	○ 概ね順調	・新たな音楽・演劇練習場の整備、拠点文化施設の整備（市民会館の再整備）に係る検討の推進などの取組みは、文化芸術活動を行う人が活躍しやすい環境づくりへ向けて、概ね順調に進んでいる。 ・（成果指標の設定なし）
施策 7-3 個人の才能が成長を生む創造産業の振興	○ 概ね順調	・ゲーム分野のインターンシップやゲームコンテストの実施、アジアンパーティの開催など、クリエイティブ関連産業の振興や、エンターテインメント都市づくりの取組みは、概ね順調に進んでいる。 ・成果指標は、初期値から伸びていない（最新値は2014年のデータ）ものの、クリエイティブ関連産業事業所数の増減割合（12.6%：2012年～2014年比較）においては、政令指定都市の中で第1位である。
施策 7-4 多様な人が集まり交流・対話する創造的な場づくり	○ 概ね順調	・天神ビッグバンの推進、都心部機能更新誘導方策の計画の具体化など創造的空間の整備・誘導の取組みは、概ね順調に進んでいる。 ・（成果指標の設定なし）
施策 7-5 チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり	○ 概ね順調	・職場体験学習を通じて中学生が将来を考える機会となる体験の場の充実、女性の活躍促進などの取組みは、順調に推移している。 ・成果指標は、「企業における女性管理職比率」に関しては中間目標を達成し、「若者率の全国平均との差」に関しては中間目標に届かなかったものの、若者率は引き続き全国平均を上回って推移している。
施策 7-6 大学や専門学校などの高等教育機関の機能強化	○ 概ね順調	・大学のまちづくり事業、大学と産業界との連携などによる若者の定着促進などの取組みは、概ね順調に進んでいる。 ・成果指標は、中間目標を達成するなど、順調に推移している。

分野別目標 8 国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
＜めざす姿＞ ○都心部を中心とした高度な都市機能と、国際交流のゲートウェイにふさわしい充実した港湾・空港機能などにより、福岡都市圏は国際競争力の高い地域として国内外から評価されています。 ○多くの地場企業がアジアをはじめとした海外に積極的に展開しており、地域の経済を活性化しています。また、海外経験などをもつ日本人や留学生、外国人が、福岡市を舞台にさまざまな分野で活躍しています。 ○アジアの中の成熟都市として蓄積した知識や経験を生かし、アジア地域が抱える社会課題の解決や生活環境の向上に寄与しています。 ○制度、習慣、言語などの違いを越え、海を挟んで向き合う福岡市と釜山広域市とが、二都市を中心とする圏域での生活経済圏を形成しています。		
施策	評価	
施策 8-1 都市の活力を牽引する都心部の機能強化	○ 概ね順調	・天神ビッグバンの推進、ウォーターフロント地区再整備の推進などの取組みは、概ね順調に進んでいる。 ・成果指標は、「都心部の従業者数（最新値は2015年のデータ）」は初期値からほぼ横ばいで推移しており、「都心部の1日あたりの歩行者交通量」は中間目標値を大きく上回る状況である。
施策 8-2 高度な都市機能が集積した活力創造拠点づくり	○ 概ね順調	・活力創造拠点づくりについては、シーサイドももち（SRP地区）の拠点性の維持向上などにおける企業や大学などのネットワーク構築を目的としてコンソーシアムを立ち上げ、IoTに関するセミナーや講座等を実施するなど、概ね順調に進んでいる。 ・成果指標の「アイランドシティ・九州大学学術研究都市・シーサイドももち（SRP地区）の従業者数」は、中間目標に届いていないものの、事業所数は伸びている。
施策 8-3 国際的なビジネス交流の促進	◎ 順調	・海外バイヤーとの商談会の開催や展示会への出展支援、アジア経済交流センターによるセミナー等の開催などの取組みは、順調に進んでいる。 ・成果指標は中間目標を達成するなど、順調に推移している。
施策 8-4 成長を牽引する物流・人流のゲートウェイづくり	○ 概ね順調	・空港機能の強化や利便性向上、港湾機能の強化や利便性向上などの取組みは、概ね順調に進んでいる。 ・成果指標は一部、中間目標に届いていないが、外貨コンテナ取扱個数の伸び率は、五大港を上回って推移している。
施策 8-5 グローバル人材の育成と活躍の場づくり	◎ 順調	・アジア太平洋諸国の子どもたちの招聘事業を行っているアジア太平洋子ども会議を支援したほか、留学生の育成・活用・定着を促進する産学官の計16団体による連携体制「グローバルコミュニティFUKUOKA推進プラットフォーム」を設立するなど、取組みは順調に進んでいる。 ・成果指標はいずれも中間目標を達成するなど、順調に推移している。

分野別目標 8 国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
施 策	評価	
施策 8－6 アジアの諸都市などへの国際貢献・国際協力の推進	◎ 順調	・地元企業の海外ビジネス展開件数目標の達成や、日本・ミャンマー間で初となるヤンゴン市との姉妹都市締結など、福岡市の「強み」を活かした国際的な貢献・展開や、海外諸都市・国際機関等との連携・交流強化などの取組みは、順調に進んでいる。 ・成果指標は中間目標に届いていないものの、熊本地震の影響を受けながらも過去最高の710人となり、増加傾向にある。
施策 8－7 釜山広域市との超広域経済圏の形成	△ やや遅れている	・ホームページ活用などによるビジネス等の情報発信、釜山の海外バイヤーを招聘した商談会などのビジネス交流の取組みは進んでいる。 ・成果指標は中間目標に届かなかったが、博多港・福岡空港における韓国との貿易額については順調に推移している。
施策 8－8 アジアをはじめ世界の人にも暮らしやすいまちづくり	◎ 順調	・外国人にも住みやすく活動しやすいまちづくりは、在住外国人への「生活情報等の提供」、「日本語学習支援」及び「暮らしのサポート」などの取組みを継続するとともに、公民館等を拠点とした地域の国際交流を促進するなど、順調に進んでいる。 ・成果指標は、いずれも中間目標を達成するなど、順調に推移している。